

委員会活動

1 委員会活動とはどのような活動ですか。

委員会活動とは、学校内の自分たちの仕事を分担処理するための活動です。主として高学年の全児童が、いくつかの委員会に分かれて、自分たちの学校生活を向上発展させ、より豊かにしていくために、児童の発意を生かし創意工夫をして実際の活動を分担して行っていきます。各委員会としては、例えば集会、新聞、放送、図書、環境美化、飼育栽培、ボランティアなどが考えられますが、委員会の種類や構成員の人数などは、それぞれの学校の特色を生かして設定することが大切です。

また、それぞれの委員会においては、協力し合って自発的、自治的な活動が行えるように留意することが大切です。委員会活動の時間が、教師の手伝いや学校内の仕事の処理のみに終わらないよう、児童自らが自分たちで解決しようとする意欲を高め、創意工夫を生かして計画・運営し、責任をもってやり遂げられるよう適切な指導や助言をすることも必要です。

2 委員会活動で子どもたちはどんな力をつけるのでしょうか。

例えば次のような力がつくのではないのでしょうか。

- 自己のよさや可能性を生かすことができる。
- 自己有用感や自信をもつことができる。
- 集団における役割意識を高めることができる。
- 自主性・社会性・個性の伸長を図ることができる。
- 望ましい人間関係を築くことができる。
- 自ら問題を解決する力をつけることができる。



3 教師はどのような支援をすればいいのでしょうか。

委員会活動では次のような支援が必要と考えられます。

- (1) 児童自らが解決していこうとする意欲や態度を育てる。
- (2) 全校児童の意向が反映されているような活動が展開できるよう配慮する。
- (3) 児童の自治的な活動として任すことのできない条件を明確にする。
- (4) 児童の負担過重にならないように配慮する。
- (5) 委員会活動と学級活動との関連を図る。
- (6) 人間関係を形成する力を養う活動を充実する。(学習指導要領解説 特別活動編)

(1) 児童自らが解決していこうとする意欲や態度を育てる。

委員会活動では、児童自ら問題に気づき、それを解決できるよう協力して活動に取り組みます。意欲的に活動に取り組むためには、問題解決の方法を話し合うとき自分の役割を具体的にとらえ、見通しをもって活動できるようにすることが大切です。また、自分の活動がみんなのためになっているという満足感・達成感は、次の活動への意欲につながるので、活動後にふり返りをしたり、改善点を話し合ったりする時間をとるようにしましょう。児童が自分のよさに気づけるよう相互評価を工夫したり、教師が適切な声かけをしたりすることも効果的です。

自主的な態度や活動意欲を育てるに当たっては、児童の活動に直ちに干渉したり援助したりするのではなく、温かく見守り、期待し、個々の児童の状況に応じて適切に指導するなど、自分たちで考え判断して活動できるよう支援していく事が大切です。

(2) 全校児童の意向が反映されているような活動が展開できるよう配慮する。

運営上、高学年の児童が中心となりがちですが、低学年・中学年児童の思いや願いを生かす手だてを工夫する必要があります。例えば、代表委員会や児童集会などでどのような活動をしているか知らせたり、全校児童を巻き込んだ活動を工夫したり、委員会活動コーナーや児童会ポストなどを活用し、その委員会にやってほしいことを全校から募集したりすることがなどが考えられます。これらの活動も経験のないことは発想を広げていくことが難しいので、教師自身が発想の豊かさや柔軟性を持ち、創造的なアイデアを提示していくことも大切です。



(3) 児童の自治的な活動として任すことのできない条件を明確にする。

児童が学校内の仕事を分担処理していくに当たっては、活動の内容を自発的に選定していくことになりますが、それが常に児童会活動の目標を達成するのにふさわしい内容となるよう指導することが大切です。その場合、児童に活動をゆだねる場面と教師が指導する場面を明確に分ける必要があります。児童に任すことができない条件には、次のようなものがあります。

○教育課程に関すること	○金銭に関すること
○安全に関すること	○施設・設備に関すること
○学校生活時間帯以外のこと	○人権に関すること
など	

(4) 児童の負担過重にならないように配慮する。

委員会活動の活性化により、より豊かな学校生活の充実と向上が望まれますが、児童の力で解決できる問題であるか、解決できる方法であるかなど、活動計画を十分に考慮する必要があります。また、児童の負担過重にならないように、次のような点にも配慮しましょう。

- 休憩時間を確保する。
- 特定の児童に仕事が偏って集中しないようにする。
- 複数の委員会を兼ねないようにする。(小規模校) など

常時活動や委員会主催の集会活動の準備などが休み時間や放課後に集中してしまわないよう活動時間の確保をすることも大切です。児童が見通しをもって活動できるよう、学校独自に工夫して日課表の中に活動時間を位置づけると、一層活動の充実を図ることができます。

(5) 委員会活動と学級活動との関連を図る。

学級の諸問題に気づき学級をより充実・向上させていく力は、学校の諸問題に気づき学校をより充実・向上させていく力となって生かされます。さらに、係活動が活発に行われ、学級内の仕事の分担処理の活動の経験を積むことで、委員会活動に生かされ、充実した活動が行われるようになります。例えば、学級での話し合いから「〇〇大会をやってほしい」と集会委員会に希望を伝えたり、代表委員会を通して「給食の時間にリクエスト曲を流してほしい」と放送委員会に提案したりすることで、委員会に所属していなくても委員会活動に対する関心が高まると考えられます。このように委員会活動と学級活動の関連を図ることで双方が活性化することを全職員が共通理解し、児童の発意を大切にしながら双方から関連を図るようにしましょう。

(6) 人間関係を形成する力を養う活動を充実する。

委員会活動では各委員会の「活動」を通しての人間関係を形成していきます。楽しい学校生活づくりのために上学年が下学年を思いやり、下学年が上学年にあこがれをもち、仲良く協力し、信頼し支え合おうとするなど望ましい人間関係を築くことができます。

しかし、異年齢集団活動であるため、経験や仕事をこなす技能、発言の内容などに当然違いがあります。教師は、同じ委員会の仲間として互いの意見を尊重し、互いの長所が生かされるよう指導する必要があります。また、「みんなはどう思うかな。」「低学年はどう感じるかな。」「いやがる人やできない人はいないかな。」など、他の学年や集団を意識させるような教師の助言も大切です。



4 組織はどのようにすればいいのでしょうか。

【委員会活動の組織】

種類や数などは学校の実情によって異なります。それは、施設や設備、教師や児童の数などが学校の規模によって変わってくるからです。したがって組織はそれぞれの学校が創意を生かし、独自のものを構成することになります。前年度の活動を振り返り、児童の意見や希望を生かした組織づくりをすることで、児童の自発的、自治的な活動を一層助長することができます。

基本的には

それぞれの活動が有機的な関連をもって学校生活を向上させることができる組織であること

代表委員会と各委員会、各委員会ごとの相互の関連が図られ異年齢集団による活動の成果が十分に上がるような組織であること

一人一人の児童が尊重され、しかも互いに協力し合って活動が展開されるような組織であること

が求められます。

【実施学年】

運営には主として高学年の児童があたります。小規模校の場合には中学年の児童からその運営に参加させることも考えられるでしょう。

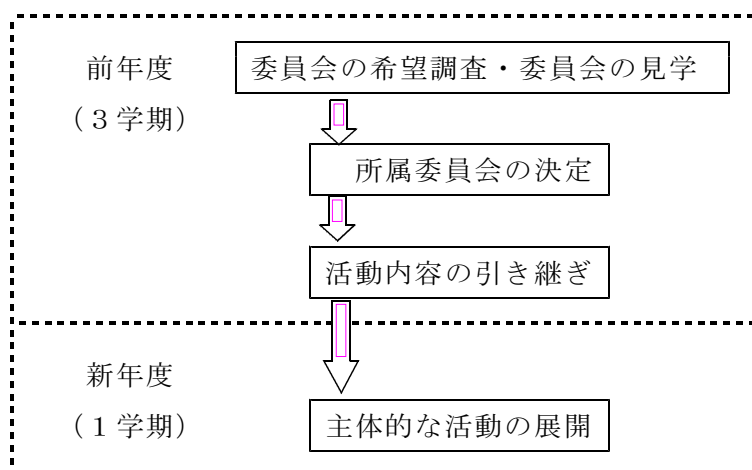
【委員会への所属】

委員会活動において、児童は1年間は同一の委員会に所属して活動することが望ましいです。途中で委員会の所属変更を希望する児童に対しては、委員会活動の意義を十分理解させ、継続して活動するよう指導することが望ましいと思われますが、事情によっては変更を認めるような配慮が必要になる場合も考えられます。

【委員会の所属決定までの流れ】

右のような流れで行います。

運営上、前年度に所属を決定しておけば児童間の引き継ぎがうまくいき、新年度のスタートがスムーズに切れます。



5 指導計画はどのようなことに気をつければよいのでしょうか。

指導計画作成の条件としては、

- 指導のねらいを明確にする。
- 児童の実態に即する。
- 学校や地域の実態に即する。
- 指導計画は全校の教師により作成する。
- 他の教科との関連を計る。



などが挙げられます。指導計画の作成にあたっては、あらかじめ基本的な枠組みを定めておき、実際の活動は、児童の手によって一層具体的な活動計画が立てられる弾力性、融通性に富むものでなければなりません。また、時間のとり方については、代表委員会や各委員会ごとに話し合いをもつ時間を月1単位時間程度は設けましょう。さらに代表委員会や各委員会との関連を図り、活動を活性化するため、両者を同時に実施することは避ける、など実施のあり方を工夫する必要があります。さらに委員会活動は、月1回程度の各委員会の話し合いだけでなく、常時活動を重視した年間指導計画を立案することも大切です。

次に図書委員会の指導計画の例を示します。

○年間計画

図 書 委 員 会		活動場所：図書室他	委員数 ○○名
めあて	みんなにたくさんの本を楽しく読んでもらおう。		
月	予想される活動	月	予想される活動
4	年間計画・役割分担を決める	1 0	読書週間の「読書集会」の準備
5	新しい本の受け入れ・紹介	1 1	多読賞の表彰の準備と実施
6	雨天時の絵本読み聞かせ活動	1 2	人気のある本調べ
7	おすすめ本のポップ作り	1	本の整理と修繕
8	図書室の蔵書の整理	2	本の整理と読みたい本のアンケート
9	「読書集会」について	3	1年間のまとめ・次年度の引き継ぎ

○常時活動

- ・本の貸し出し業務 ・図書の整理 ・図書の修繕
- ・図書館だよりの掲示 など



6 委員会活動を活性化する実践例を教えてください。

【委員会名の工夫】

A 校では、第 1 回目の委員会活動の話合いの際に、子ども自身が楽しい委員会名を考えている。そうすることによって、委員会に対する所属感や活動意欲の高まりを図ることができる。その際には、活動がよくわかるような名前にするよう事前に指導している。

【委員会コーナーの設置・発表の場の設定】

B 校では、児童の自発的、自治的な活動を促すために、掲示板に委員会活動コーナーを設置している。このコーナーは、各委員会から全校児童に知らせたいことやお願いなどを掲示している。例えば飼育委員会からは学校で飼っているウサギの名前を募集したり、「生き物とふれあいタイム」のお知らせをしたりしている。また栽培委員会では、一人一鉢の花のお世話のお願いをするなど、全校児童への働きかけをしている。

また C 校では、ショート集会に各委員会の時間を設け、お知らせや発表を行い、活動の活性化を図っている。

【委員会主催の活動の実施】

○運動委員会

朝のスポーツタイムでしたい運動をアンケートで募集して実施したり、昼休みにドッジボール大会を開催したりする。

○図書委員会

梅雨時の休み時間に、1 年生に絵本の読み聞かせをしたり、紙芝居をしたりする。読書週間に合わせて、読書集会を計画・実施する。

○健康委員会

虫歯の予防集会やインフルエンザの予防集会を計画・実施する。

○ボランティア委員会

ゴミ 0 活動を計画・実施する。

○栽培委員会

ペットボトルを加工して鉢を作り、各クラスへプレゼントする。

○飼育委員会

休み時間に定期的に動物とのふれあいタイムを設け、動物と直接触れあってもらう。

7 委員会活動の評価について教えてください。

委員会活動の評価には、活動そのものに対する評価、一人一人の児童に対する評価、集団に対する評価などが考えられますが、学級活動の場合と異なり、多くの教師（担当教師、学級担任、特別活動主任）の適切な連携のもとで実施されなければなりません。また、次の活動につながる評価、「指導のための評価」であることを明らかにした上で行うことが大切です。「評価のための評価」にならない配慮が必要です。

（１）評価の観点

① 特別活動の全体計画に基づき適切に実施されたか。

学校の教育目標、特別活動の目標、委員会活動の特質、他の教育活動や特別活動の内容との関連等から多面的に評価します。

② 児童一人一人のよさが生かされ、個性の伸張が図られたか。

集団活動の中で、一人一人が成就感、自己有用感、存在感などを味わい、自分の良さ生かし、個性を伸ばすことができたかなど、個人について評価します。

③ 異年齢集団が充実し発展したか。

自発的、自治的活動を通して、年齢の異なる児童が互いに協力し合って、望ましい集団活動に発展し、学校生活が向上したか評価します。

（２）評価の方法

① 教師の評価

ア 指導の記録や資料による評価

指導計画などの印刷物、委員会ノートなどの記録、教師や児童・各家庭に配布した印刷物、掲示物や展示物などの資料をもとにして総合的に評価します。

イ 観察記録による評価

一人一人の活動を記録したり、抽出した児童の活動を記録したりします。また、集団活動の実態（組織運営、役割の分担、人間関係、雰囲気、成果など）を記録して多面的に評価することも大切です。

ウ 面談記録による評価

一人一人と面接して、心情面なども含めて深い評価をします。

エ アンケート調査による評価

教師、児童、保護者、地域の人々などを対象に質問紙を用いて調査し、表やグラフなどにまとめ、統計的な評価をします。

② 児童の評価

ア 自己評価

委員会や教師が作成したチェックカード（資料参照）を用いて評価したり、自分が振り返ったことなどを自由記述で評価したりします。

イ 相互評価

友達のがよかったところや学んだことなどについて活動後に話し合います。評価カードや手紙などを交換し合います。

ウ 感想文や反省記録

感想や今後の抱負，工夫や改善したいことなどについて文章で記述します。

【自己評価カードの例】

委員会		年 組 名 前
め あ て		
内 容		○△×
○自分の考えや意見を進んで発表しましたか？		
○友達の意見を聞きながら，話し合いを進めましたか？		
○自分から進んで活動しましたか？		
○毎日（毎回）自分の仕事が責任をもって果たしましたか？		
○友達と協力して活動しましたか？		
○工夫して活動しましたか？		
感 想		

◎ よくできた

○ だいたいできた

△ もう少し

（３）児童会活動の評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・実践・判断	集団活動や生活についての 知識・理解
楽しく豊かな学校生活をつくるための諸問題に関心をもち、他の児童と協力し、積極的に児童会の活動に取り組もうとしている。	楽しく豊かな学校生活をつくるために、児童会の一員としての役割や諸問題を解決する方法などについて考え、判断し、協同して実践している。	楽しく豊かな学校生活をつくる児童会活動の意義や組織、そのための活動内容，方法について理解している。